認知症にやさしいまちづくり講演会



参加無料

申込不要

認知症になっても、自分らしく暮らせるまちへ
～医師と一緒に考える、認知症との付き合い方～



講師　石井　伸弥　医師
（メープルヒル病院　院長）

2001年東京大学医学部卒業。

帝京大学医学部附属市原病院麻酔科での研修後、2004年より渡米し、UPMC(University of Pittsburgh Medical Center)にて内科初期研修を行う。

2007年よりUCLA/VA(Veterans Affairs)にて老年病内科フェロー(後期研修)。

2008年よりVAにてリサーチフェローを開始し、同年UCLA大学院臨床研究コースに入学、2010年学位取得。

2011年帰国し東京大学老年病科に勤務。

2017年東京大学大学院にて医学博士号取得。

2018年4月より厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室にて認知症専門官として勤務後、2020年4月より広島大学大学医系科学研究科共生社会医学講座にて特任教授。

2024年4月より医療法人社団知仁会　メープルヒル病院院長、広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センターセンター長。

認知症の人が安心して地域で暮らすためには、認知症を正しく知り、地域で見守り、支え合うまちづくりが必要です。
認知症とはどういうものか、身近な人が認知症になったときの対応などについて、分かりやすく解説していただきます。

令和8年12月12日(土) 13:30~15:30

場所：尾道市総合福祉センター　4階　大会議室
（尾道市門田町22-5）

問い合わせ先：尾道市高齢者福祉課　☎0848-38-9137

主催：尾道市（地域包括支援センター認知症施策推進部会）／尾道市社会福祉協議会
協力：尾道市認知症の人と家族の会／尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会